

明治元九月二十六日より明治元年十月朔日(一日)まで

P8310791right

廿六日子 晴風

前の内より幸便鶏卵一箱を贈らる、次郎を携え近傍へ書籍買入に散歩、小梅村抱屋敷紹介植木や某(金次郎)来り議定金渡し方等の手続云々申せし旨、休左衛門申聞右□□不都合の廉有し

廿七日丑 陰夜雨

昨夕休左衛門申聞く云々、不都合の廉、談判として同人を紹介人某方へ遣し、且村役人方並屋敷門□屋敷譲受□渡辺某方へ□し遣す、旧婢鎌母同道来り鶏卵琉芋持来、午飯を

勧め小酬品を「煙草」遣す、午飯を勧む

廿八日寅 雨終日

昨休左衛門の懸合筋、猶不都合にて条理不立に付、大助を頼同道せしめ譲受旨渡□也

P8310791left

某方へ差遣す、明後朔日屋敷並皆金受取渡共一時いたし度旨に談書頼旨、薄晩に至り

五郎雇ひ連□門番栄蔵駿州より帰着し雁書届く、且同人より小品を贈らる

廿九日卯 陰乍晴

妻儀永持隠居並富沢家内を得て劇場に趨(おもむ)く、太郎吉願家族上総移住の儀書面

日野根へ為持遣す、君塚嘉平来る、酒肴を設午餐を勧む

十月

朔日辰 晴風午下止

抱屋敷譲渡し本日約に有し処、差支え有しと延期いたし度旨渡辺伴方より件の問合旁文通有し、山本長

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。